

消防局 平成23年度局運営方針

1 基本方針

消防機関に必要な環境を整備し、災害発生時には24時間体制という組織力をもって迅速・確実に対応することを目指します。

- (1) 災害時の活動拠点となる消防署所について、老朽化の著しい庁舎の整備を図るとともに地域特性に応じた消防車両の配備を推進し、その機能を最大限に発揮できる人材育成と訓練を実施し部隊活動能力の向上を目指します。
- (2) 救急活動に必要な資器材を確保するとともに、市民に対する応急手当の普及啓発を推進し的確な救急サービスの提供を目指します。
- (3) 消防、救急活動に必要な不可欠な消防救急無線のデジタル化に向け、通信設備等の整備を目指します。
- (4) 住宅火災による被害の軽減及び住宅用火災警報器の設置促進を図るとともに、防火対象物等に対する査察体制の充実強化を目指します。

2 主な取組

- (1) 老朽化の著しい消防署所の建替え、改修工事等を計画的に実施します。
- (2) 救急隊が早期に傷病者情報を把握し、迅速な救急搬送を行うことができるよう、「緊急時安心キット」を高齢者世帯等に配布する事業を実施します。
- (3) 消防救急無線のデジタル化に伴う基本設計(電波伝搬調査を含む。)を実施します。
- (4) 住宅火災による被害の軽減並びに住宅用火災警報器の設置促進を図るため、自治会と連携し「住宅防火モデル地区指定事業」を実施します。
- (5) 防災展示ホールの有効活用を図るため老朽化した体験機器を改修し、魅力ある施設としてより多くの市民に対し防火防災教育を推進します。

3 行財政改革への取組

費用対効果を意識し、知恵と工夫を凝らして、事業の再構築や見直しをさらに行い、より効果的かつ効果的な業務の遂行を図ります。

救急隊が早期に傷病者情報を把握し、迅速な救急搬送を行うことができるよう、「緊急時安心キット」を高齢者世帯等に配布する事業を実施します。

保有資機材等の保守管理について職員自らが実施するなど、維持管理コストの縮減に努めます。

音楽隊員全員が消防業務と音楽隊業務を兼務していることから負担の軽減を図るため、消防音楽隊組織の再構築を検討します。

緊急自動車以外の車両は、環境に配慮した次世代自動車を導入します。

4 消防局予算額

<一般会計>

(単位：千円)

平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	増減
2,868,294	3,282,802	414,508

5 消防局主要事業

(単位：千円)

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
1	消防署・所整備事業(消防施設等整備事業) 災害時の活動拠点となる消防署・所について、新設、移転、建替え、統廃合及び改修工事等の整備を図ります。	消防企画課 消防施設課	699,920
2	消防救急無線のデジタル化整備事業(指令業務推進事業) 現在活用している150MHz帯のアナログ消防救急無線は電波法で定められた期限(平成28年5月末)までに全てデジタル方式に移行することが必要とされており、整備事業の一環として、平成23年度は、電波伝搬調査を含む基本設計を実施します。	消防企画課	13,060
3	緊急時安心キットの整備事業(救急業務推進事業) 救急現場において、高齢者や障害を持っている方の迅速な救急搬送を図るため、掛かりつけ医療機関等の情報を正確に把握する「緊急時安心キット」を整備します。	救急課	15,750
4	住宅防火対策推進事業(火災予防推進事業) 住宅用火災警報器の設置促進をはじめとした住宅防火対策を推進します。	予防課	2,632